



人権平和資料館だより

2021年(令和3年)4月

# HUMAN RIGHTS & PEACE 第269号

〒720-0061 福山市丸之内1-1-1

TEL 924-6789 FAX 924-6850

人権と平和は

21世紀のキーワード

[jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp)

## 障がい者スポーツを考える

～パラリンピックの世界へようこそ パート2～

期間 4月18日(日)～6月27日(日) 期間中入場無料



元シドニーパラリンピック日本代表(車いすマラソン) 渡邊 幹司 さん(福山市出身)

いよいよ『東京2020オリンピック・パラリンピック』が開催されます。今回は多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる公平な競技を保障していくためにどのような工夫がされているのかに焦点をあてて、展示パネルを構成しました。展示パネルは、国際パラリンピック委員会が世界各国の子どもたちに学校教育を通じて「東京2020パラリンピック」の魅力を伝えることを目的として開発された教材を中心に、どなたでもわかりやすい内容で構成しています。

## パラリンピックがめざす、共生社会について

すべての人にはスポーツに参加する権利があります。それは障がいがある人も同じです。スポーツを楽しむうえで、障がいのためにできないことがあったり危険が伴うと考えられることに対し、発想を転換したりやり方を変えるなどの創意工夫をルールに反映させて参加の可能性を広げているのがパラリンピックスポーツです。

パラリンピックから学ぶ「創意工夫」は、さまざまな機会が公平に与えられるような共生社会の実現を促進するためのきっかけとして捉えることができます。

今回の企画展をきっかけに、次のことについて考えていきたいと思えます。

- できないことではなく、できることに注目する。
- できないことでもあきらめず、どうやったらできるようになるか考える習慣をつける。
- 物理的・心理的なバリアをなくすことについて考える。
- 工夫の結果、一方的にどちらかが有利にならないように考える。
- 障がいがあるからできないのではなく、環境が「できないこと」を生じさせていることがあるということを考える。

### 福山市人権平和資料館企画展関連行事

オンライン講演会 「障がい者スポーツを考える」

講師 広島国際大学総合リハビリテーション学部  
准教授 谷口 公友さん

入 場 無 料

■日時 5月16日(日) 午後1時30分～

■場所 福山市人権平和資料館

講演会 「共生社会の実現をめざして～パラリンピックと私～」

講師  
・元ソウルパラリンピック日本代表（アーチェリー）  
・第17回厚生大臣杯・全国身体障害者アーチェリー選手権大会優勝  
・元広島県アーチェリー協会評議員  
・元福山ゴールドクラブ会長  
・現在、アーチェリーの指導者として活躍中  
福場 道子 さん（神石高原町在住）

入 場 無 料

講師 福山大学経済学部経済学科

講師 中村 和裕 さん

■日時 6月6日(日) 午後1時30分～

■場所 福山市人権平和資料館

